

BHELP (Basic Health Emergency Life Support for the Public) は、「発災直後から避難所での活動を効果的・効率的に実践するために、災害対応における知識、共通の言語と原則を理解し、被災者の生命と健康の維持、災害発生直後からの被災地内での災害対応能力向上に資すること」を目的とした日本災害医学会の教育コースです。

日 時：令和8年2月7日（土）9時30分～17時00分

場 所：埼玉医科大学総合医療センター 管理棟2階 カンファレンスルーム1・2

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田1981

受講対象：医療・保健・福祉に関連する専門職及び、その受験資格を得ることができる教育機関の学生、防災業務に従事する行政職員

募集人数：36名

（希望者多数の場合には埼玉県特に川越市在住・在勤者優先。その他、職種のバランスを考慮して選考する場合があります）

受 講 料：5,000円（当日受付で徴収いたします）

コース運営担当者：増田由美子（埼玉医科大学総合医療センター）

【コース概要】

軸はCSCAHHH : Healthcare Triage(ヘルスケア・トリアージ)

Helping Hand(手を差し伸べる)

Handover(つなぐ)

1) 講義

- ・災害医療体制の概要と医療対応の原則
- ・避難所、福祉避難所の概要、体制構築および運営上の留意点
- ・避難所の環境改善に必要な情報収集のためのアセスメントシートの活用
- ・避難所生活により生じやすい健康問題とその予防法
- ・被災地域内外の支援者との連携協力

2) 演習：講義で学習した内容を活用して、以下の演習を行います。

- ・トリアージ ・保健福祉的視点によるトリアージ ・CSCA を意識した対応
- ・アセスメントシートを活用した避難所の情報収集と評価 ・避難所のレイアウト

【申込方法】

D-PORT（災害医療イベントポータルサイト）より「第4回埼玉BHELP標準コース」を選択するか、下記URLもしくはQRコードのいずれかでお申し込みください。

<https://forms.gle/kLS5im6TKpQc8Vd3A>



*お申込みの際はパソコン用のメールアドレスでのご登録をお願いいたします（携帯アドレスは不可）

【募集〆切】令和8年1月10日（土）17:00まで

申し込み状況により期日前に締め切る可能性があります。

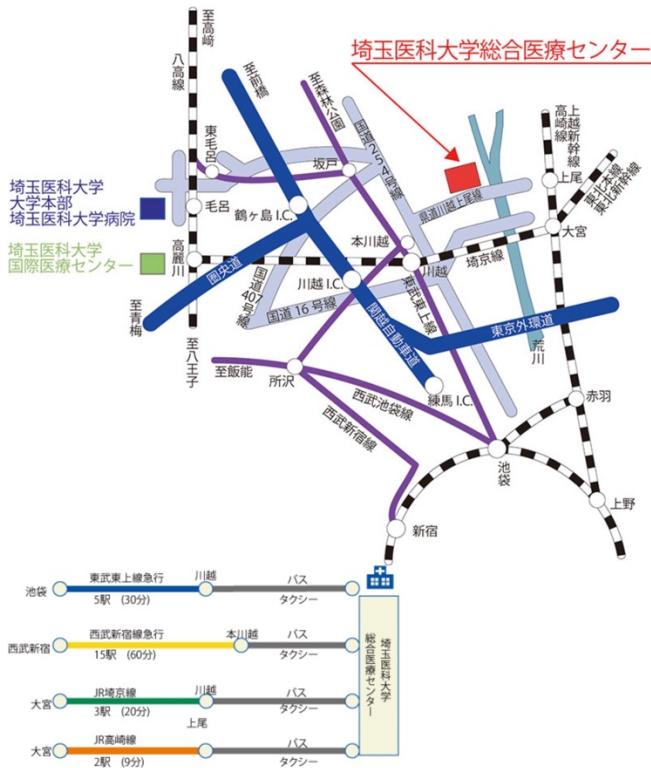
【採否連絡】令和8年1月17日（土）を目途に、ご本人のメールアドレスにご連絡致します。

【問い合わせ】埼玉医科大学総合医療センター 増田由美子 yumimasu@saitama-med.ac.jp

【会場までのアクセス】

バスを利用される方

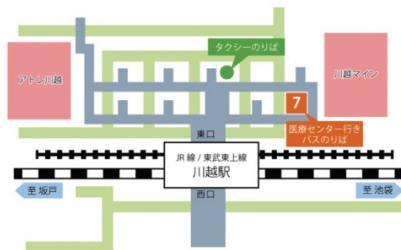
電車路線図



バスを利用される方

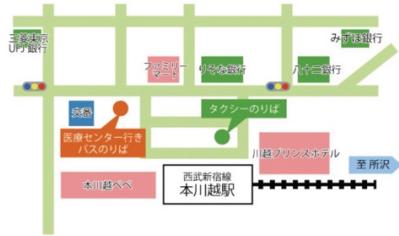
- 川越駅東口より東武バス
- (上尾駅西口・平方・埼玉医大・川越運動公園行き) (25分) 埼玉医大下車
- JR高崎線・上尾駅西口より東武バス (川越駅行き) (20分) 埼玉医大下車
- 川越市内循環バス「川越シャトル」40系統

バス・タクシーのりば／川越駅



※ バスのりばは川越駅（東武東上線・JR川越線）東口出口を出て右前方向、7番です

バス・タクシーのりば／本川越駅



※ 駅を背にして交番に一番近いバス停です

敷地内案内図

